

新認証サービス (Shibboleth) のご案内

シボレス

2010.07.22

全学アカウント対応サービスが充実！

さらにShibboleth認証したRefWorks, CiNii間ではシングルサインオンが可能になりました。

全学アカウント

SPS-ID : 教職員アカウント

ECS-ID : 学生アカウント

全学アカウントによる 認証 (Shibboleth非対応)

文献管理ツール (レフワークス)



(ECS-ID / SPS-ID)

文献の収集・管理・共有を支援
Shibboleth認証しておけば、学外からのアクセスにグループコードが不要

電子ジャーナル・
データベース
認証システム

(ECS-ID / SPS-ID)

全学生共通ポータル



(学生ECS-IDのみ)

- 教務情報システム : KULASIS
- WWWブラウザメール : DEEPMail
- 図書館ポータル : MyKULINE

Shibboleth認証



NII論文情報ナビゲータ
(サイニイ)

CiNii

(ECS-ID / SPS-ID)
日本語学術論文等の検索



(ECS-ID / SPS-ID)

ドリームスパーク

Microsoft
DreamSparkTM

(学生ECS-IDのみ)

ソフトウェア開発製品やアプリケーションデザインツールを提供
ユーザ登録時のみ認可にshibboleth連携を利用

KUINS-PPTP



(ECS-ID / SPS-ID)



京都大学教職員グループウェア用認証システム

(教職員SPS-IDのみ)

- ◆ Shibboleth認証は、複数サービスへのログインを共通化してスムーズに利用できる、シングルサインオンと呼ばれる仕組みを提供します。一度ログインしておくと、ブラウザを閉じるまで認証が継続するので、対応している他のサービスを使った場合、ID とパスワードを再度入力する必要はありません。
- ◆ 学外からでもアクセス可能です。
- ◆ 今後、学内における学術研究、情報基盤に関する様々なサービスの認証環境統一に向けて推進していきます。

お問い合わせ先

図書館機構 : 電子ジャーナル・データベース認証システム, MyKULINE, RefWorks, CiNii

情報環境機構 : 全学生共通ポータル, DreamSpark, 教職員グループウェア, Shibboleth, 全学アカウント, KUINS-pptp